

朝日村の人たちの思い

私たちの青年時代は、軍国日本として天皇陛下に一身を捧げることが
子の最大の誇りであり、名誉でした。男子は徴兵検査で合格をすることが
最大の誇りであり、名誉でした。

(新井 音吉)

ある日、寺沢出身の谷口さんが航空隊から帰ってこられ、私の目の前にそ
の勇姿を見せてくれました。かねてから空にあこがれ、夢にまでみた現実の
パイロットをこの目にしたのである。私は航空隊に入りたく、試験を受け、
見事東京陸軍航空学校に入校することができました。時に15才2ヶ月。

(岩本 義夫)

戦時中、どここの家庭でも一人や二人の出征兵がいないと心狭さを感じ
させた時代であった。私も一家の長男として生まれ、親の希望でもあった兵
隊を志し、試験を受け合格した。

(山本 豊司)